

# 4年 研修の経過（前期）

H15.11.5

学年研修のテーマと目標

活動テーマ 「見つめよう 住み良い大岡」

学年研修目標 「身近なことから課題を見つけ、自分なりに解決する子」

## 1 具体的な活動内容

「課題作り」の実践について

総合学習を始めて2年目の4年生にとって、課題を見つけ問題を解決していくことはなかなか困難なことである。そこで、課題作りにじっくり時間をかけ、課題を作っていくことを学習させたいと願った。また、問題に自分で気づき、進んで取り組んだり解決方法を選択したりして問題を自分なりに解決をしていく姿をねらった。

住み良い町とはどんな町か。  
より良い環境にするために自分達に出来ることにはどんなことがあるだろうか。

課題をつかむために

- ・校区探検をし、その中から「住み良い大岡」について考えるきっかけを見つけていった。
  - 1回目 南小学校の校庭
  - 2回目 大岡公園
  - 3回目 浪人川と大岡地区の西側、大岡公園
  - 4回目 黄瀬川と大岡地区の東側
- 7 / 2 リサイクルについての学習（県の環境企画課 外山さん）  
環境についてのビデオを見て考えるきっかけを持つ。

子ども達の気づき

- ・水が汚くにごっているし、臭い。
- ・ペットボトルやびんなどのごみが多い。
- ・地域には思った以上に緑が多い。

など、どんな校区なのかをとらえることができた。そこで、・ごみのない町にしたい。・空気のきれいな町にしたい。・花や緑がいっぱいの町にしたい。・生き物がたくさんいる地域にしたい。安心して暮らせる町にしたい。など、課題である「住み良い町とはどんな町か。より良い環境にするために自分達に出来ることにはどんなことがあるだろうか。」を考えていった。

・地域と環境を結び付け課題のしぼりこみをしていった。社会科ではちょうどそのころ、身の回りのごみについてやきれいな水についての学習をしていた。学年で研修を進めていく中で、環境について広い意味で受け止め、「住み良い大岡」についてとらえていくことにした。子ども達は仮のテーマを決め、それをもとに夏休みに実際にもっと詳しく調べて行った。

・9月になり、各自「仮のテーマ」で追求したことをクラスで発表し合った。友達の発表を聞き似ているテーマごとに分けることが出来た。

・発表会の後一人で課題を追求していく子やグループになって追究していく子に分かれ、課題を追求していくことになった。それと同時に、テーマごとのグループをコース別にし、他のクラスの子とも達と交流させる機会と場を作っていた。課題については、水、大気、ごみ、生き物、植物 の大きく5つに分かれたので 水、大気 ごみ 生き物 植物の5つのコースとした。

## 2 成果について

- ・いろいろな角度から環境に目を向けることができた。
- ・話し合いの中で、質問に付け加えができた。
- ・友達のやり方を参考にして、やることができた子もいた。
- ・グループ活動の中で作業を分担したり協力したり、仲良く進めることができた。
- ・何でも記録を取ろうとするようになってきた。。
- ・デジカメの扱いに慣れてきた。